

RESAS（経済分析システム）を活用した地域経済動向の分析
～製造業と小売業の産業特性～

令和5年3月20日

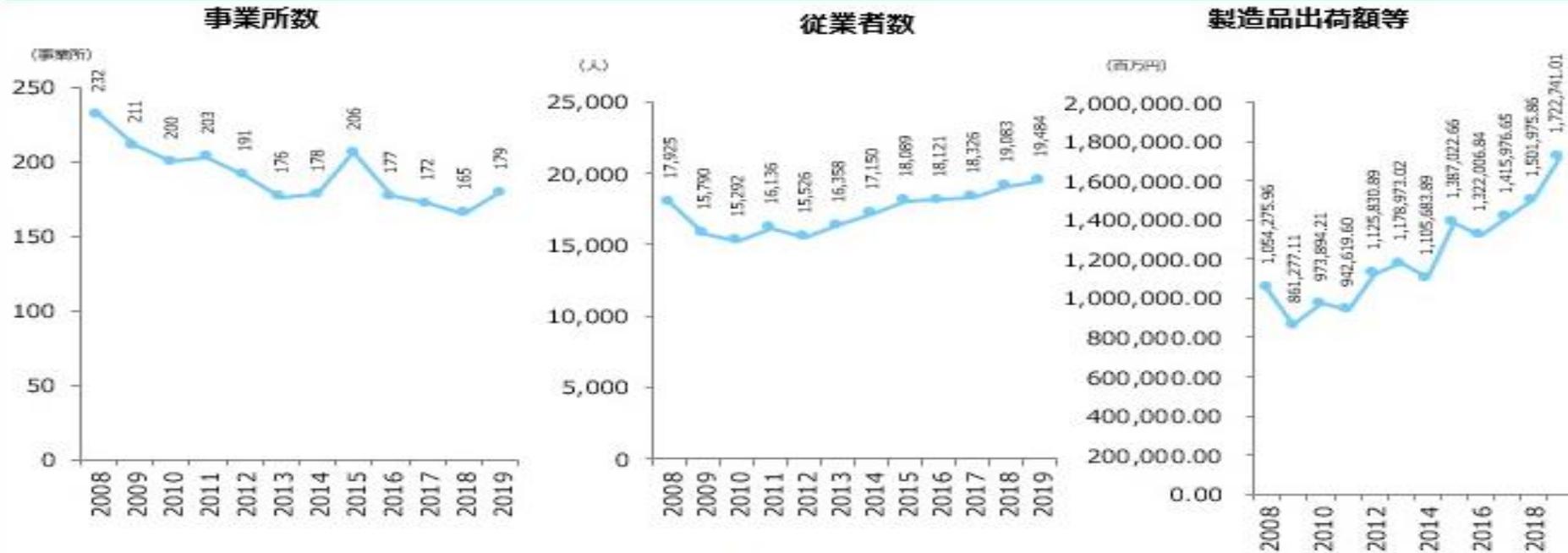
いなべ市商工会

いなべ市の産業特性（製造業）

① 事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

産業構造マップ>製造業>製造業の比較 → 「時系列グラフで分析」

・製造業全体の事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移を概観します。



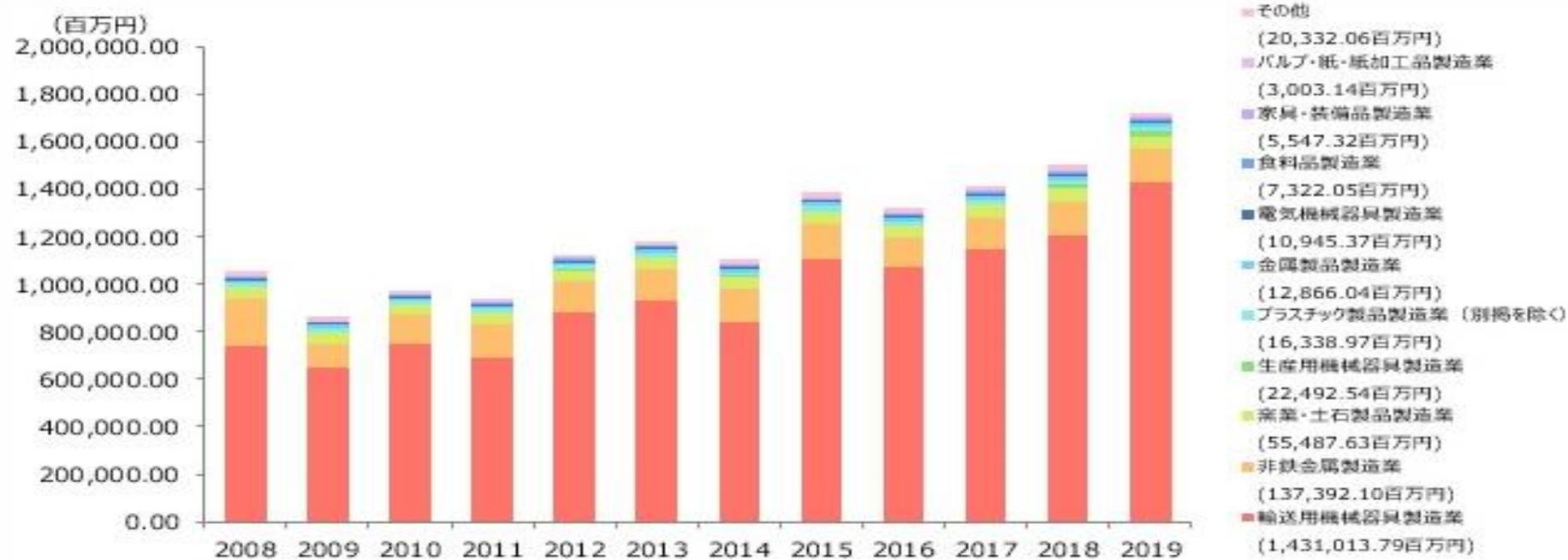
【出典】 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工、
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
【その他の留意点】 従業員数4人以上の事業所が対象。

【分析結果】

いなべ市内の製造業の事業所数は減少傾向にある。一方で、従業員数と製造品出荷額等は増加傾向にある。よって、1事業所における従業員数と製造品出荷額等は増加している。また、製造品出荷額等の増加傾向から、生産性が向上していると考えられる。

②産業別製造品出荷額等の変化

- ・産業中分類別の製造品出荷額等の推移を示しています。
- ・出荷額の大きな産業の把握や各産業における製造品出荷額等の増加・減少傾向を概観できます。



【出典】 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省-経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工、

総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

【注記】 凡例の数値は最新年の数値を指す。

【その他の留意点】 従業員数4人以上の事業所が対象。

【分析結果】

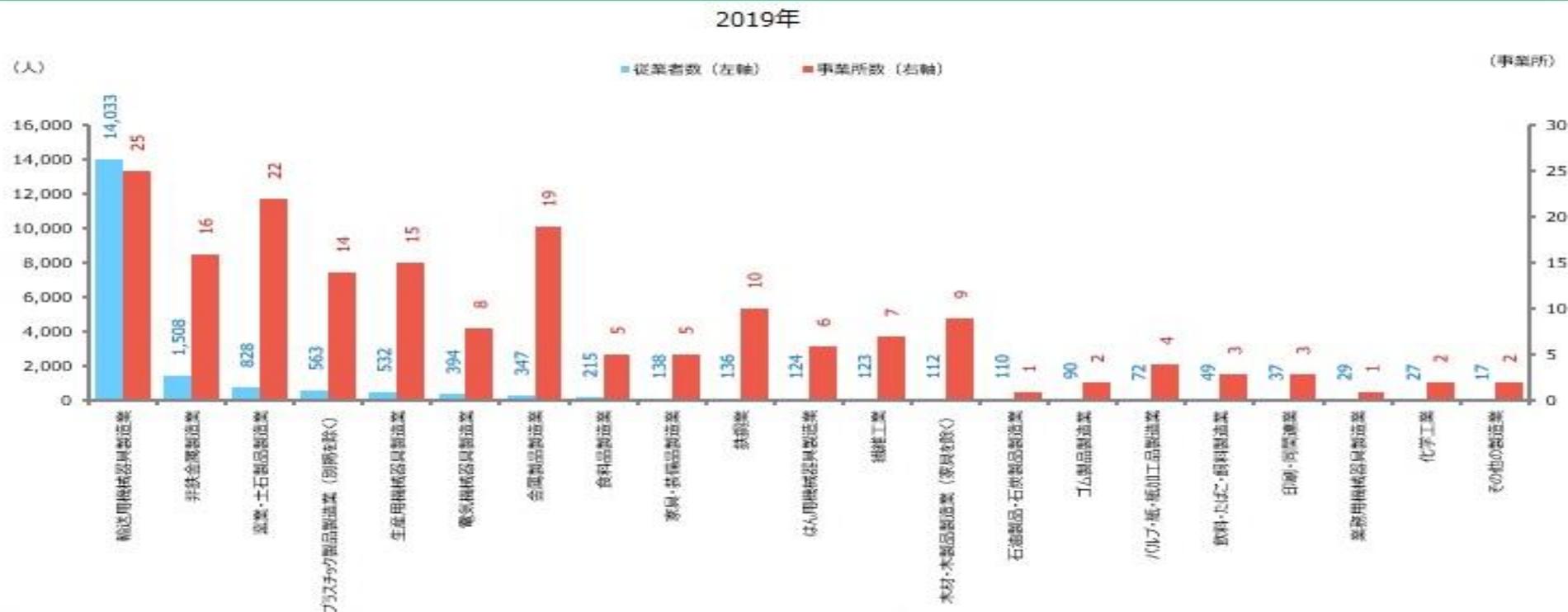
産業別製造品出荷額等の変化について分析すると、「輸送用機械器具製造業」が群を抜いて金額が高い。また、増加傾向にある。一方で、他の製造業においては、横ばいの傾向が見受けられる。

したがって、製造業においては、「輸送用機械器具製造業」が市内の成長業種の柱であると言える。大手自動車メーカーや自動車部品関連企業が集積しており、その影響が大きいと考えられる。

③産業中分類別従業者数・事業所数

産業構造マップ>製造業>製造業の比較 → 「時系列グラフで分析」 → (ダウンロードデータより作成)

- ・自地域における製造業の産業中分類別従業者数および事業所数を概観します。
- ・従業者数が多く事業所数の少ない産業は、一般に大規模工場等の存在する産業となります。



【出典】 経済産業省「工業統計調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工、
総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

【その他の留意点】 従業員数4人以上の事業所が対象。

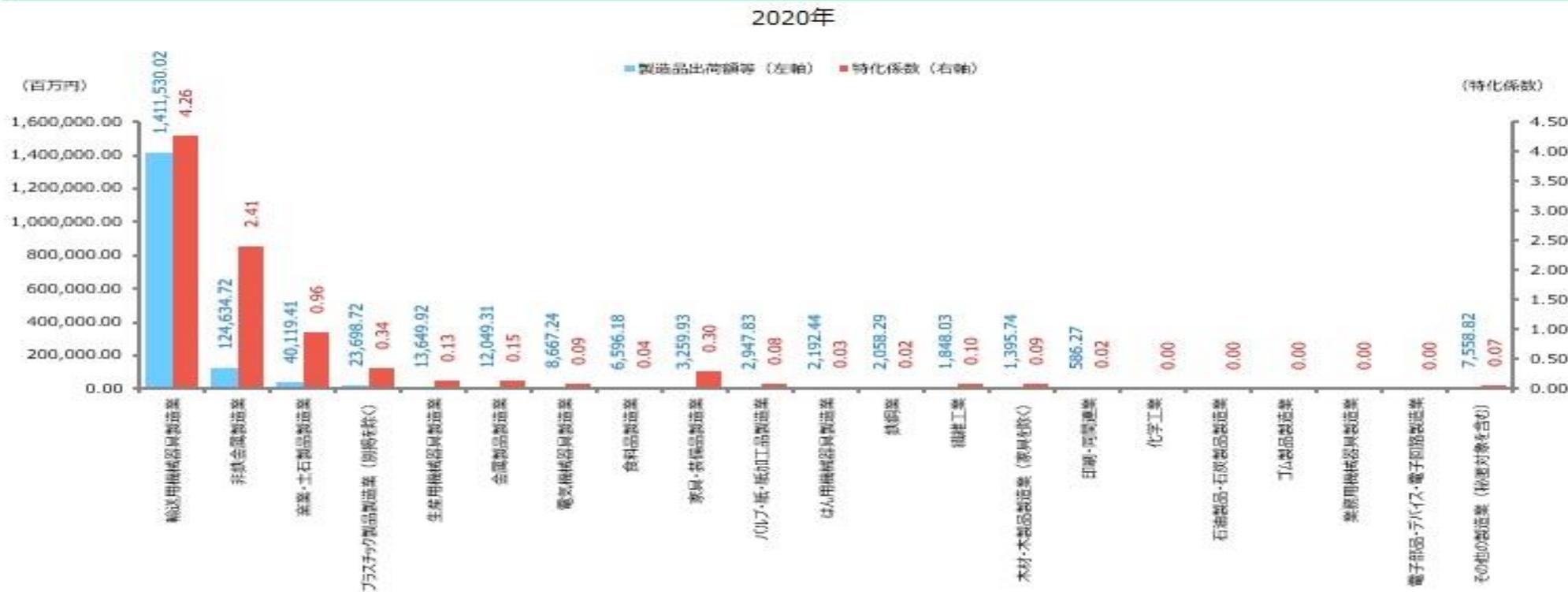
【分析結果】

いなべ市内の産業別従業者数・事業所数においては、「輸送用機械器具製造業」が従業者数・事業所数ともに最も多くを占めている。したがって、自動車製造業、自動車部品、車体製造業等の事業所が市内の雇用を担っている業種であると考えられる。

④ 産業中分類別製造品出荷額等

産業構造マップ>製造業>製造品出荷額等 → (ダウンロードデータより作成)

・自地域において出荷額規模の大きな産業を概観します。出荷額が大きく、かつ特化係数が1よりも大きな産業は、規模・構成比の両面で主要な産業となっています。



【出典】 経済産業省「工業統計調査」総務省・経済産業省「経済センサスー活動調査」

【その他の留意点】 従業員数4人以上の事業所が対象。

【分析結果】

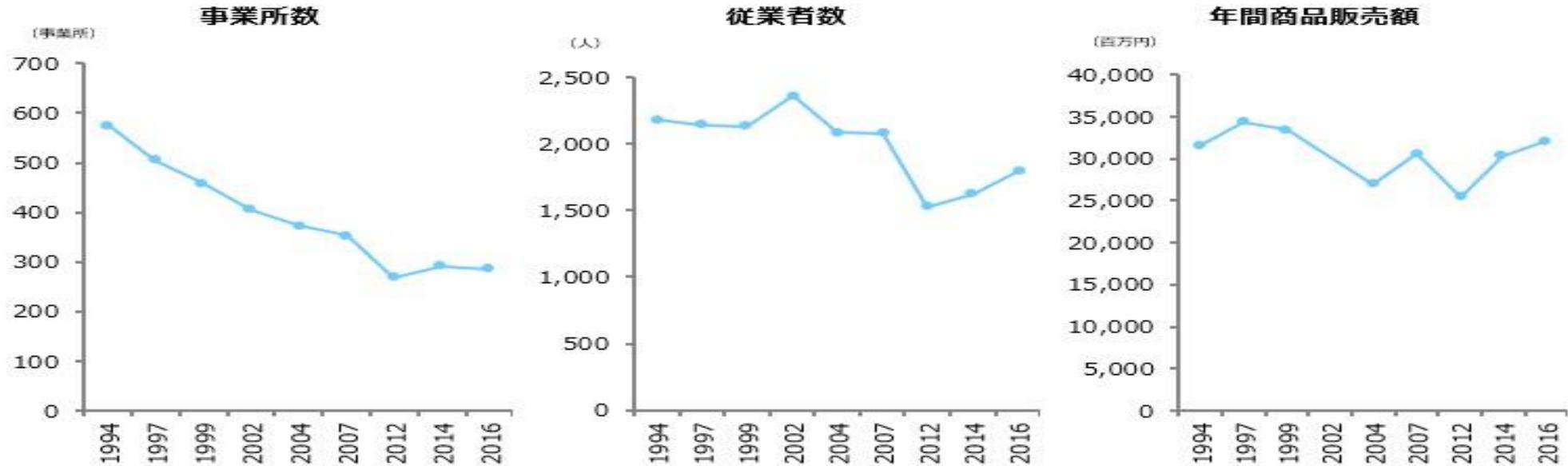
いなべ市においては最も製造品出荷額等が多い製造業は「輸送用機械器具製造業」であり、次いで「非鉄金属製造業」となっている。また、この2つの業種は、特化係数が1よりも大きな産業であり、市内において、主要な産業であると考えられる。

いなべ市の産業特性（小売業）

① 事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 → 「産業構造変化を分析」

・小売業全体の事業所数、従業者数、年間商品販売額の推移を概観します。



【出典】 経済産業省「商業統計調査」 総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

【注記】 2007年以降は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス－活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間（表示年）の比較が行えない。

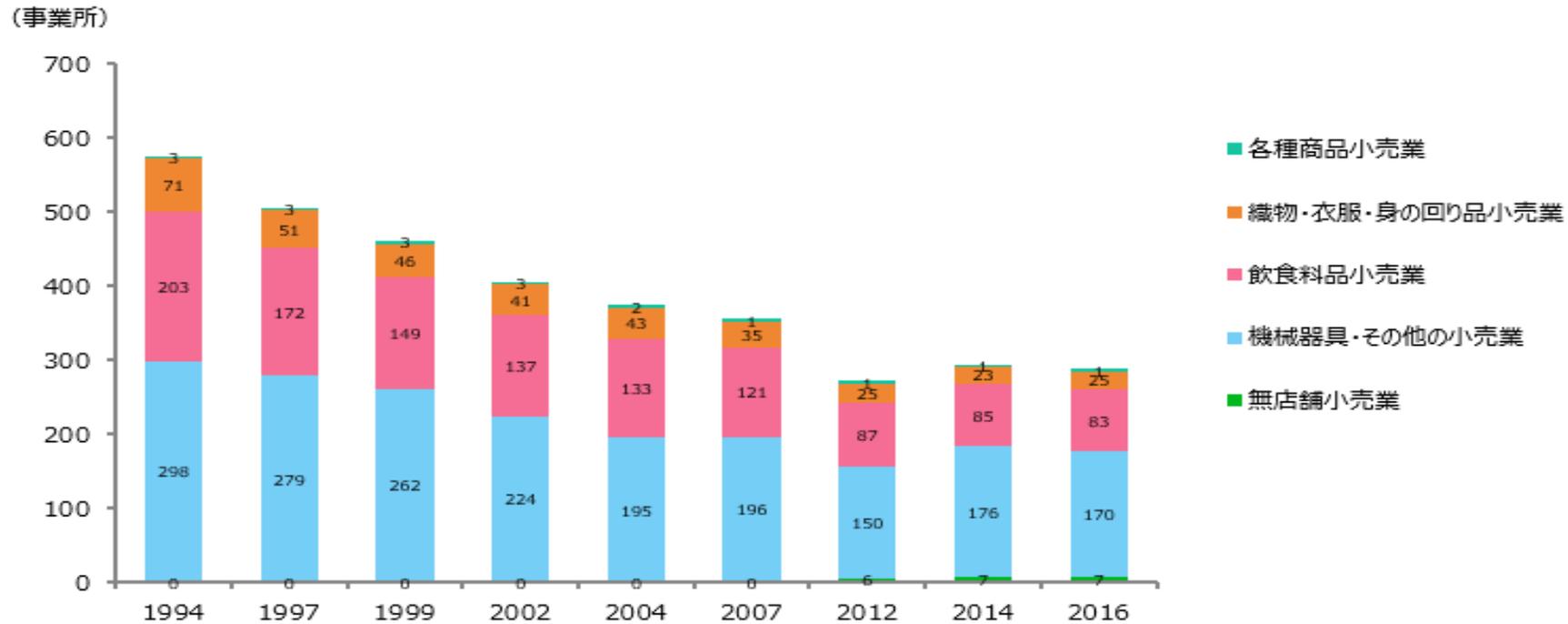
【分析結果】

いなべ市内の小売業における事業所数は、20年で半減している。従業員数及び年間商品販売額については、減少から増加へ回復傾向にある。また、1事業所あたりの従業員数と販売額が増えていることから、小売業では規模の大きい事業者が事業を続けていると考えられる。

②産業別小売業事業所数の変化

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 → 「産業構造変化を分析」

- ・小売業の事業所数推移を産業中分類別に示しています。
- ・事業所数の多い産業の把握や各産業における事業所数の増加・減少傾向を概観できます。



【出典】 経済産業省「商業統計調査」 総務省・経済産業省「経済センサス－活動調査」

【注記】 2007年以降は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス－活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間（表示年）の比較が行えない。

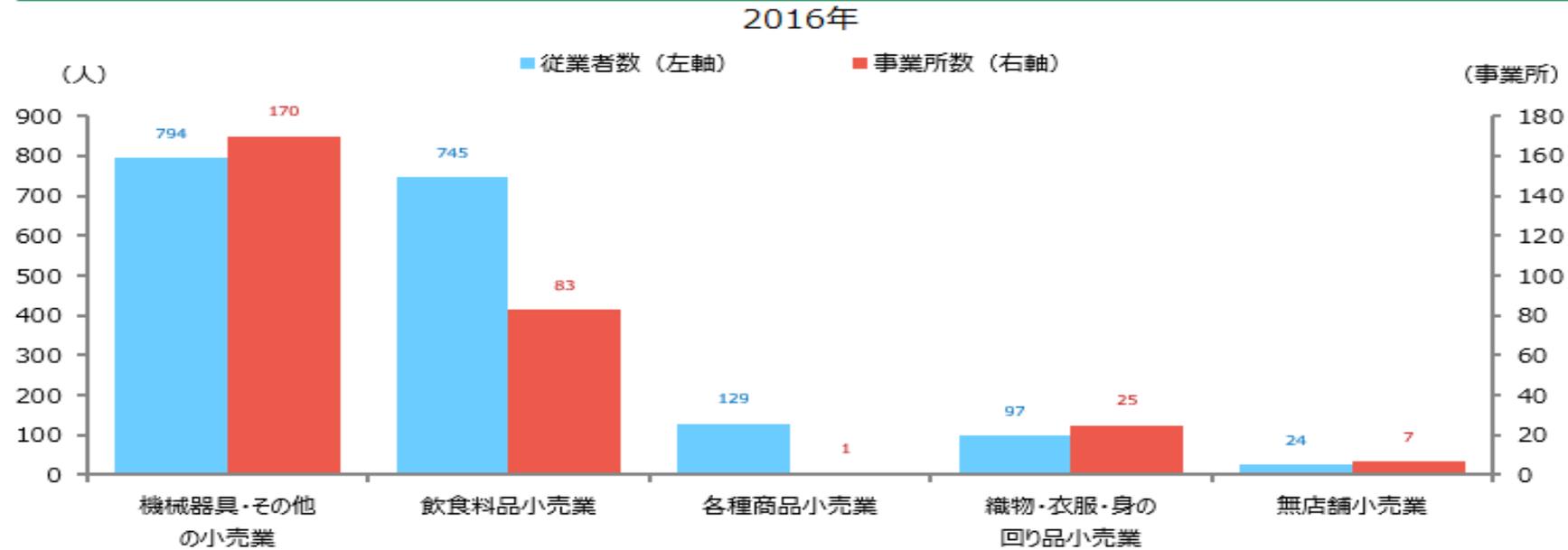
【分析結果】

小売業においては、各小売業種において、事業所数が減少している。中でも「織物・衣服・身の回り品小売業」は64%減少しており、次いで、「飲食料品小売業」に大幅な減少がみられる。一方で、唯一、無店舗小売業は増加している。小売業においては、ネット通販普及による影響が大きいと考えられる。

③産業中分類別従業者数・事業所数

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 →（ダウンロードデータより作成）

・自地域小売業の産業中分類別従業者数および事業所数を概観します。



【出典】
総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」

【分析結果】

いなべ市内の小売業における産業別従業者数・事業所数においては、「機械器具・その他の小売業」が従業者数・事業所数ともに最も多くを占めている。自動車小売業、ドラッグストア、ガソリンスタンド等の小売店が、雇用を担っていると考えられる。

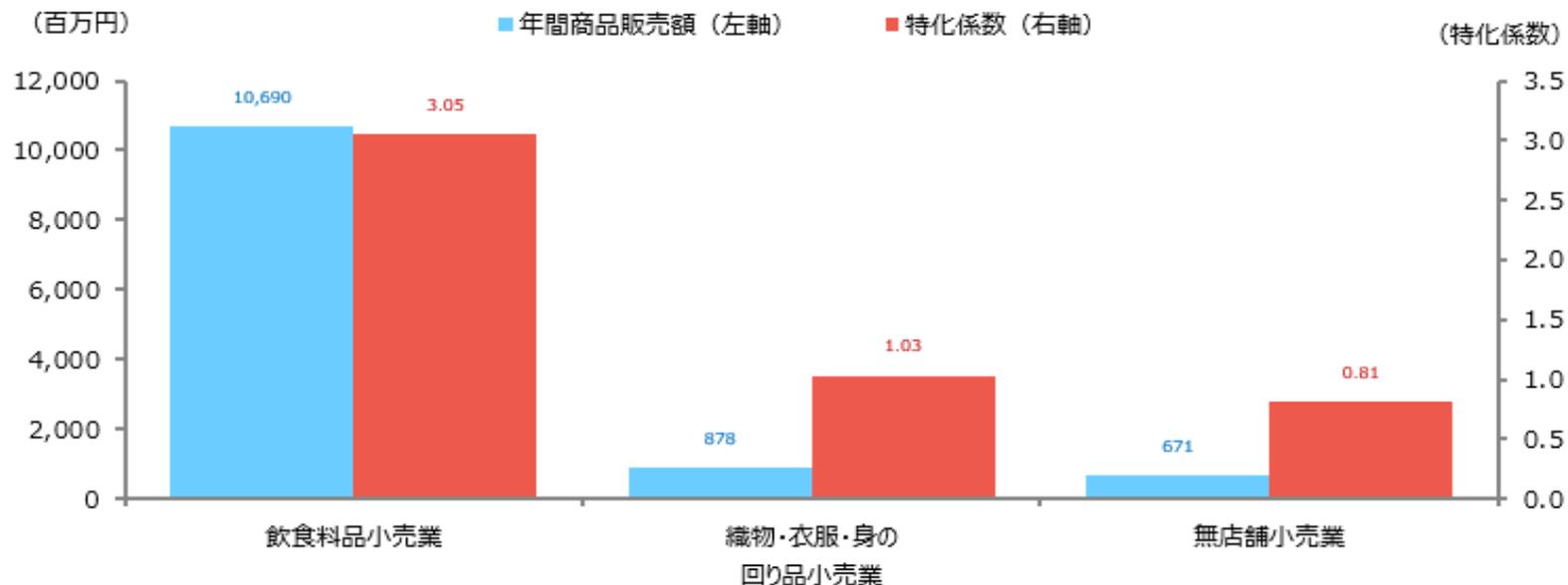
また、飲食料品小売業においては、事業所数は少ないながらも、従業者数は多い。したがって、大手スーパー等も市内の雇用を担っていると考えられる。

④産業中分類別年間商品販売額

産業構造マップ>小売・卸売業（消費）>商業の構造 →（ダウンロードデータより作成）

- ・産業中分類別の年間商品販売額の構成比から、自地域において販売額規模の大きな産業を概観します。
- ・特化係数が1よりも大きな産業は、全国傾向よりも構成比が大きくなっており、特徴的な産業と言えます。

2016年



【出典】

総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」

【分析結果】

いなべ市においては最も年間商品販売額が多い小売業は「飲食料品小売業」、次いで「織物・衣類・身の回り品小売業」となっている。また、この2つの業種は、特化係数が1よりも大きな産業であり、市内において特徴のある小売業種であると考えられる。よって、日常生活に必要な衣食の小売店以外の事業の持続には課題があるとも考えられる。